

広島県知的障害者福祉協会 令和元年度事業報告

はじめに

今年の4月1日には、新しい「年号」が公表される。この平成の30年間は、バブル絶頂期からその崩壊という変遷があり、「失われた10年」とも「20年」とも言われた時代である。社会福祉の分野では、日本型福祉社会構想が破綻して、社会保障制度の再構築の必要性により社会福祉構造改革が行われた。今では耳慣れた「ゴールドプラン」「エンゼルプラン」そして「ノーマライゼーション（障害者プラン）」ですが、当初は新しい制度への理解と移行に時間が必要だった。「自助」「共助」「公助」という考え、「措置」から「利用契約」へと制度の大転換は、漸く軌道に乗ってきた。その後、障害福祉制度改革、社会福祉法人制度改革が実施され、平成は制度の変革期であった。今、我が事・丸ごとの地域づくりがいわれている中、これからは各地域における我々の支援の力が期待されている。このような中、障害福祉においては、2019（平成31）年度障害福祉サービス等の報酬改定が明示された。良質な障害福祉サービス、障害児支援の確保、地域生活支援事業等の拡充など、利用者の多様化の中、個々のニーズに応じたサービス提供体制の整備が図られる報酬改定となっていることを期待する。

また、共生社会の推進に向けた取り組みの方向性として、障害者差別解消法の理念の周知・啓発、「心のバリアフリー」の充実、障害者の地域移行や地域生活の支援等が示されるとともに、施設として、職員が心身共に疲弊して孤立することなく、充実感や誇りを抱いて働ける環境作りや職員研修の更なる推進と心の健康管理の強化等による職場環境の改善に向け、この1年、本協会としても、各種の情報提供を行うとともに、会員相互の連携を図りながら、真摯に対応していかねばならない。

そして、これらの動勢を熟慮した上で、支援部会活動と業務部会活動の連携を図りながら、各種の課題検討、研修計画、政策提言などを積極的、効果的に実施することが必要とされている。

施設や地域で生活している障害（特に知的障害、発達障害）のある人たちの尊厳が守られ、豊かな生活が送れるよう、確固たる倫理観を持って支援にあたりるとともに、会員相互に協力し合いながら、知的障害福祉の推進に努めなければならない。

1. 基本方針

すべての本協会会員が、共通理解の下、連携した活動を通して、個々の必須課題として意識し、能動的に参加し、利用者、地域、行政などにとっての本協会の有用性を高める為に、以下の活動を基本とする。

- (1) 障害の有無にかかわらず、誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指して、地域社会全体の思いが繋がり合う環境作りに貢献する。

- (2) 本協会への積極的な加入を促進し、活動基盤の強化を図る。
- (3) すべての会員が本協会への帰属感が持てるように、活動内容や活動方法について、配慮を行う。
- (4) 障害福祉理念や関係施策、更には障害福祉を取り巻く社会情勢などについて、意欲的に研鑽する場を設ける。
- (5) 支援の対象である人たちのニーズや思い、そして地域の人々の障害福祉についての意識や意向、また、新たな障害福祉の必要性について把握し、認識するように努める。(実態調査やニーズ調査など)
- (6) 支援に携わる人材(職員)の資質(専門性と意識)の向上と職場定着を図るための効果的な対策等の検討を行う。
- (7) 個々の会員の経営課題等の改善に資する情報交換、人材交流、相互協力を促進する。
- (8) 社会福祉法人における地域貢献、経営改善、人材確保、県行政への要望等について、広島県社会福祉協議会をはじめとして、関係諸団体との連携の下に、対応策等の検討を行う。
- (9) 平成30年7月西日本豪雨災害の教訓として、県内の社会福祉施設間において「災害時における相互支援協定(仮称)」実施に向けての協働態勢の構築を図る。
- (10) 本協会会員は、(公財)日本知的障害者福祉協会の定款及び会員準則等を遵守しなければならない。

2. 重点課題

- (1) 各種の養成研修(サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者、相談支援従事者研修、行動援護従事者養成研修及び各種国研など)へのグループリーダー等の派遣に協力すると共に、障害福祉サービスの「質の向上」や障害福祉従事者としての遣り甲斐感・充実感を得られることを目的に、広島県身体障害者施設協議会、広島県精神障害者支援事業所連絡会、広島県障害者相談支援事業連絡協議会、広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会等と連携・協力を図りながら参画・協力する。
- (2) 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」の理念を周知・啓発に向けた各種の研修等を実施する。
- (3) 福祉人材確保の対策について検討協議を行う。
- (4) 障害者のスポーツ・文化芸術への参画・協力をする。
 - ① あいサポートアート展開催にむけて、協力・参加する。
 - ② あいサポートふれあいコンサート開催にむけて、企画・実施する。
 - ③ 広島県障害者スポーツ協会主催事業への参画・協力をする。
 - ④ 広島県知的障害者ソフトボール協会設立に協力をする。
- (5) 2019年度における本協会主催、若しくは本協会支援部会・業務部会主催の各

- 種研修会については、成功裡に迎えられるよう、会員相互の協力を図る。
- (6) 支援部会、業務部会の活動の活性化を図るために、それぞれに委員を登用し、幅広い人材の参画により協会活動を充実させる。
- (7) 本協会の事業が確実に実施され、成果を上げるように、適時適切に、その事業の進行管理を行い、必要に応じて会員相互の協力態勢の構築や事業計画の再検討などの善後策を講じる。
- (8) 本協会の活動に関係深い関係団体等とは、従来に引き続き連携を図る。

- ①広島県社会福祉協議会
- ②広島県身体障害者施設協議会
- ③広島県精神障害者支援事業所連絡会
- ④広島県障害者相談支援事業連絡協議会
- ⑤広島県障害児・者地域療育等支援事業連絡協議会
- ⑥広島県手をつなぐ育成会
- ⑦すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議
- ⑧広島県障害者スポーツ協会
- ⑨広島県社会福祉施設経営者協議会
- ⑩広島県災害時公衆衛生チーム
- ⑪広島県就労振興センター
- ⑫広島県発達障害者支援センター
- ⑬広島県知的障害者ソフトボール協会（仮称）
- ⑭業種別代表者会議（加盟 14 団体）

（①、②、⑨以外に県内の老人福祉連盟、児童養護施設協議会、母子生活支援施設協議会、乳児院協議会、保育連盟など）

- ⑮その他

なお、本協会主催の研修会等において、他団体等にも共通する内容のものについては、参加人数の余裕のある場合には参加を呼びかける。

3. 事業

- (1) 総会・役員会の開催
- (2) 各支援部会の開催
 - [児童発達支援部会]
 - [障害者支援施設部会]
 - [日中活動支援部会]
 - [生産活動・就労支援部会]
 - [地域支援部会]
 - [相談支援部会]
 - [支援スタッフ部会]

- (3) 各業務部会の開催
 - [政策・調査・研究部会]
 - [人権・倫理部会]
 - [人材育成・研修部会]
 - [事業部会]
 - [総務部会]
- (4) 県内3地区親善行事（西部・中部・東部）球技大会等の開催
- (5) 第13回広島県障害者陸上競技大会の実施
 - 令和元年5月19日
 - 広島県びんご運動公園
- (6) 広島県知的障害者福祉協会 総会及び施設長会議の開催
 - 第1回 令和元年5月24日 広島ガーデンパレス
 - 第2回 令和2年3月11日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止等により中止
- (7) あいサポート アート展への参画・協力
 - 令和元年10月29日～11月3日 県立美術館
 - 令和元年11月19日～11月24日 ふくやま美術館
- (8) 第3回あいサポート ふれあいコンサート in ひがしひろしまの開催
 - 令和元年12月1日 東広島芸術文化ホールくらら
- (9) 第51回中国地区知的障害関係施設長会議の実施
 - 平成31年4月18日・19日
 - TKPガーデンシティ広島駅前大橋
- (10) 第59回中国地区知的障害関係施設親善球技大会の実施
 - 令和元年9月20日
 - 東広島運動公園（体育館・野球場）、賀茂ボール
- (11) 第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会2019」
 - ソフトボール中国・四国地区予選会への参加
 - 令和元年5月25日・26日
 - 徳島市民吉野川北岸運動広場（徳島県）
- (12) 第61回中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会への参加
 - 令和元年7月25日・26日
 - 徳島グランヴィリオホテル（徳島県）
- (13) 令和元年度全国知的障害関係施設長等会議への参加
 - 令和元年7月22日・23日
 - パシフィコ横浜（神奈川県）
- (14) 第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会2019」
 - 令和元年10月12日～14日 ※台風19号の影響により中止
 - 笠松運動公園陸上競技場（茨城県）
 - ソフトボール（知的）：山吹運動公園野球場

- (15) 第57回全国知的障害関係職員研究大会（鹿児島大会）への参加
令和元年10月22日～24日
鹿児島市民文化ホール ほか
- (16) 第45回広島県知的障害者福祉大会 呉大会
第18回はつらつ大会（本人大会） 呉大会
令和元年11月17日
くれ絆ホール、IHIアリーナ呉（呉市体育館）
- (17) 第8回きらっと光る人生を考える研究大会の実施
令和2年1月18日
広島市総合福祉センター
- (18) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催
「第6回全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール」 募集協力
応募数：小学校【3校3作品】 中学校【6校26作品】
表彰：学校賞 小学校【私立鶴学園なぎさ公園小学校】
中学校【広島市立東原中学校】
- (19) (公財) 日本知的障害者福祉協会主催における各支援部会の全国・
地区会議・大会等への参加
- (20) 「介護の日」フェスタ IN 広島への参画・協力
令和元年11月9日・10日 県立広島総合体育館 大アリーナ

5. 総括

各支援部会、業務部会において積極的な部会活動を行ってきた。多方面から支援の質の向上に貢献をするとともに、県自立支援協議会主催の養成研修のファシリテーター等の派遣を協力的に行った。

また、県内での災害時等における安心・安全を共に支え合うことを目的にした相互協力体制の構築するために「災害時等における安心を共に支え合う相互協力に関する協定」に積極的に関与した。

広島県知的障害者ソフトボール協会の設立が、関係機関の理解を得ながら、設立することが出来た。

事業

1. 会議の開催

(1) 総会の開催

開催年月日		会 場	主 な 議 事	出席状況
1	令和元年5月24日	広島ガーデンパレス	(1) 理事の補充選任(案)について (2) 平成30年度事業報告(案)について (3) 平成30年度収支決算(案)について	出席 121人 委任 64人
2	令和2年3月11日	広島ガーデンパレス	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。次の議案について書面決議を行った。 (1) 令和元年度収支補正予算(案)について (2) 令和2年度事業計画(案)について (3) 令和2年度収支予算(案)について (4) 現役員の令和2年5月総会までの継続について	書面回答数 161人

(2) 役員会等の開催

開催年月日		会 場	主 な 議 事	出席状況
1	平成31年4月23日	県社会福祉会館	(1) 平成30年度事業報告・収支決算(案)について (2) 2019年度第1回の持ち方について (3) 第51回中国地区知的障害関係施設長会議の振り返りについて (4) 各部会報告 (5) その他	19人
2	令和元年6月6日	県社会福祉会館	(1) 平成30年度7月豪雨災害義援金(第2期)の配分について (2) 令和元年度(第59回)中国地区知的障害関係施設親善球技大会について	15人

開催年月日		会 場	主 な 議 事	出席状況
2	令和元年6月6日	県社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> (3) 強度行動障害支援者養成研修の実施について (4) 行動援護従事者養成研修の実施について (5) 各部会報告 (6) その他 	15人
3	令和元年7月19日	県社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度県福祉予算に対する要望事項について (2) 災害時における物資支援ルートの拠点設置について (3) 各種研修等におけるファシリテーターについて (4) 令和元年度第8回「きらっと光る人生を考える研究大会」について (5) 第59回中国地区知的障害関係施設親善球技大会について (6) 令和元年度強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）について (7) 各部会報告 (8) その他 	15人
4	令和元年9月4日	県社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和2年度県福祉予算に対する要望事項について (2) 第59回中国地区知的障害関係施設親善球技大会について (3) 広島県知的障害者ソフトボール協会会則（案）について (4) 災害物資支援ルートにかかる拠点施設全体会議について (5) 全国小・中学生 障がい福祉ふれあい作文コンクール応募作品の審査について (6) 各部会報告 (7) その他 	17人

	開催年月日	会 場	主 な 議 事	出席状況
5	令和元年 11 月 6 日	県社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和元年度全国会長・事務局長会議の報告について (2) 令和元年度台風 15 号に伴う千葉県知的障害者福祉協会への見舞金について (3) 令和元年度広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修の実施に係る演習ファシリテーターの推薦について (4) 広島県知的障害者ソフトボール協会会則（案）について (5) 令和元年度第 2 回総会の開催について (6) 台風 15 号及び 19 号における被災施設等に対する義援金募集について (7) 各部会報告 (8) 全国小・中学生障害福祉ふれあい作文コンクールについて (9) その他 	17 人
6	令和元年 12 月 17 日	県社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> (1) あいサポートふれあいコンサート in ひがしひろしまの報告について (2) 令和元年度第 2 回総会の開催について (3) 令和 2 年度事業計画（案）について (4) きらっと光る人生を考える研究大会の実施について (5) 各部会報告 (6) 広島県知的障害者ソフトボール協会について (7) その他 	14 人

開催年月日	会 場	主 な 議 事	出席状況
7 令和2年2月20日	県社会福祉会館	(1) 令和元年度補正予算(案)及び令和2年度事業計画・収支予算(案)について (2) 役員を選出(案)について (3) 総会について (4) 業種別代表者会議の報告について (5) 各部会報告 (6) 第52回中国地区知的障害関係施設長会議について (7) その他	16人

2. その他会議等の開催

【平成31年度監事会】

期 日：平成31年4月23日

会 場：県社会福祉会館

内 容：(1)平成30年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について
(2)その他

出席者：副会長、監事3人、事務局2人

【第1回正副会長会議】

期 日：令和元年6月6日

会 場：県社会福祉会館

内 容：(1)平成30年度7月広島県豪雨災害義援金(第2期)の取扱いについて
(2)その他

出席者：会長、副会長、顧問

【第2回正副会長会議】

期 日：令和2年2月28日

会 場：県社会福祉会館

内 容：(1)新型コロナウイルス発生による感染拡大防止に対する令和元年度第2回総会の中止について
(2)今後の対応について
(3)その他

出席者：会長、副会長

3. 予算・政策要望活動

広島県社協社会福祉制度・予算対策委員会への出席

支援部会

■児童発達支援部会

児童発達支援部会

方針：乳幼児期、学齢期、青年前期における切れ目のない支援と保健、医療、保育、教育、就労支援等と連携した地域支援体制を図る観点から、個々の課題やその家族の状況及びニーズに応じて、障害児支援等の質の向上を図ることを目指す。そして、通所支援、入所支援の中で、各種の研修会等を重ねながら、施設機能の多様性や職員の専門性の向上を図り、併せて、障害児相談支援の充実について、各種の検討協議を行う。なお、児童発達支援管理責任者養成研修等に、専門性の向上に寄与する観点から、人材育成を図る。

通所施設分科会

方針：通所支援（①児童発達支援、②居宅訪問型児童発達支援、③放課後等デイサービス、④保育所等訪問支援）事業の実施に応え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。

具体的には、①支援の質の保障 ②家族支援の重要性 ③保育所等との併行通園に係る支援及び保育所等訪問支援の充実 ④学校との連携について ⑤保護者の就労支援等について、⑥医療的ケア児への対応等 ⑦障害児等療育支援事業など各種の情報交換を行う。

併せて、障害児相談支援における事業体制の整備協力、質の保障、相談スキルの向上等について、各種の検討協議を行う。

入所施設分科会

方針：入所支援・通所支援（①児童発達支援、②放課後等デイサービス）事業の実施に応え得る専門性の向上に向けて、各種の情報交換や研修会を企画・実施する。また、18歳以上の利用者の経過措置期間が延長（平成33年3月まで）され、過齢児の成人サービスへの移行には、県と市町が連携を図り、成人施設、障害福祉サービス事業所と理解・協力を得ながら、障害児入所施設へ入所した後から退所後の支援を見据えた連絡調整の充実に向けた各種の検討協議を行う。

具体的には、①一定の目的を持った短期入所（有期限・有目的）について ②強度行動障害を有する児童への対応強化について ③社会的養護の必要な障害児への対応 ④小規模入所における課題について ⑤過齢児の成人サービスへの移行について ⑥「在り方検討会」について各種の検討協議を行う。

- (1) 施設長会議の実施（部会事業）（分科会事業）
- (2) 職員研修会の企画／実施（部会事業）（分科会事業）
- (3) 各種団体との意見交換会の企画／実施（部会事業）

1. 施設長会議

(1) 児童発達支援部会第1回施設長会議

期 日：令和元年5月17日

場 所：ホテル広島ガーデンパレス

参加者：26人

内 容：①平成30年度事業報告・決算について
②平成31（令和元）年度の事業について
（1）通所支援 （2）入所支援
③情報交換
④その他

(2) 児童発達支援部会第2回施設長会議

期 日：令和2年1月24日

場 所：ホテル広島ガーデンパレス

参加者：19人

内 容：①役員改選について
②令和2年度児童発達支援部会事業計画及び予算(案)について
③情報交換
④その他

(3) 通所支援分科会

【公開療育研修会】 担当：柏学園

期 日：令和元年11月15日

場 所：柏学園

参加者：28人

内 容：オリエンテーション
自由参観
意見交換・質疑応答

(4) 児童施設分科会施設長会議

[第1回] 期 日：令和元年7月19日

場 所：中国芸南学園児童部

参加者：施設長、支援スタッフ等

内 容：①自己紹介・意見交換
・障害児入所施設の在り方に関して
・差別解消法について
②意見交換
③施設見学

事業総括

通所支援、入所支援分科会とも各種の研修会を実施することが出来、県内の支援における共通理解や支援の質の確保に貢献することが出来た。また、今後「障害児入所施設の在り方に関する検討会」や「放課後等デイサービスの実態把握及び質に関する調査研究」の報告書を参考に各種の検討実践を図ることとする。

■障害者支援施設部会

方針：総合支援法等の制度改正において、障害のある人が地域で暮らすための施設やサービスの充実が図られると同時に、県や市町の障害者福祉計画において地域生活移行の推進と施設入所者数削減が示されるなど入所施設の将来が見通せない状況にある。しかし、現状は「高齢・重度化」「強度行動障害」「医療的支援」など課題は増加しており、365日24時間支援が行える「障害者支援施設」のニーズや期待はより大きくなっている。

部会では、こうした現状を踏まえ、制度の動向をセミナー等の開催によって捉えるとともに今後の入所施設の役割について考える。

さらに会員施設間での情報交換によって、個々の施設の課題や取組みを出し合い相互の資質向上に繋げる。

1. 令和元年度第1回障害者支援施設部会施設長会議

時 期：令和元年5月15日

内 容：①「県内の地域生活支援拠点の整備状況」について
(市町の状況等についての情報提供)

説 明：広島県健康福祉局障害者支援課

自立・就労グループ 主幹 木村 由美 氏

②平成30年度事業報告並びに決算状況報告・確認

③平成31年度部会研修会の企画案報告・協議

・第6回保健衛生・給食担当職員研修会について（松陽寮）

・第6回広島県支援施設セミナーについて（あゆみ苑成人寮）

④その他・情報交換

場 所：広島市南区役所・別館

参加者：23人

2. 令和元年度第2回障害者支援施設部会施設長会議

時 期：令和2年1月28日

内 容：①令和2年度事業計画並びに予算（案）協議

②令和2年度部会研修会の事務局・企画案協議

・第7回保健衛生・給食担当職員研修会について（太田川学園）

・第7回広島県支援施設セミナーについて（尾道さつき会）

③強度行動障害者支援先進施設視察研修について協議

④任期満了に伴う部会長の選任について協議

⑤その他・情報交換

場 所：広島市南区役所・別館

参加者：19人

3. 第6回保健衛生・給食担当職員研修会（担当事務局：松陽寮）

時 期：令和元年9月12日

内 容：①「摂食・嚥下機能と誤嚥防止について」

講師 広島県立障害者療育支援センター 医療科

言語聴覚士 石原 須美子 氏

言語聴覚士 上野 靖子 氏

②「障害者施設等における口腔ケアについて」

講師 広島県立障害者リハビリテーションセンター

主任医長 古胡 真佐美 氏 他

場 所：東広島市芸術文化ホールくらら

参加者：84人

4. 第6回障害者支援施設セミナー（担当事務局：あゆみ苑成人寮）

時 期：令和元年10月18日

内 容：①講演 「OJTトレーナーが組織から求められていること」

講師 株式会社 インソース 山本 武史 氏

②実践発表

・テーマ：「トレーナー制度を中心とした職員育成の取り組み」

発表者：瀧岡 峰花 氏（多機能型あさひ） 廣川 麻衣 氏（西の池学園）

・テーマ：「自分で考え 工夫する職員」

発表者：橋本 法之 氏（尾道サンホーム）

・テーマ：「統一した育成とフォローの必要性」

発表者：長岡 遼 氏（放課後児童デイサービスセンターぷくぷく）

・テーマ：「OJTは全員参加のプログラム」

発表者：富本 麻衣子 氏（西志和農園）

場 所：福山市生涯学習プラザ まなびの館 ローズコム

参加者：79人

事業総括

市町の地域生活支援拠点整備において、障害者支援施設が緊急時の受け入れなどに積極的に関与するよう求められていることから、部会に広島県障害者支援課の担当者を招き、事業内容や県内の整備状況について説明していただき情報交換した。

前年度に引き続き保健衛生・給食担当職員研修を実施し、会員施設の課題をグループワーク等を出し合い、それぞれの事業所が抱えている摂食・嚥下機能の問題や口腔ケアについて学んだ。

セミナーについては、OJTによる人材育成の取組みについて4事業所に実践発表していただいた。研修をとおして課題を共有し組織的な人材育成や定着の手法について学ぶことが出来た。

今後も障害者支援施設の役割と使命が果たせるよう部会独自の研修を企画し研鑽する。

■ 日中活動支援部会

方針：日中活動支援部会には、生活介護を中心とした事業者が多く関係しており、障害のある方などへの良質なサービス提供はもとより、利用者一人ひとりがその人らしい社会生活をおくる事ができるよう意思決定支援の充実がより強く求められるようになった。

また、地域共生社会の実現に向けた取り組みが進む中、介護保険と障害福祉制度に新たに共生型サービスが位置付けられ、高齢者と障害児者が同一事業所でサービスが受けやすくなり、今後は高齢障害者の生活介護事業所への利用ニーズが高まる事も予測される。

今年度は、利用者個々に応じたより質の高いサービス提供に取り組むため、会員施設間での連携を深め、情報の収集並びに共有に努めながら各種研修会を行っていく。

1. 第1回施設長・管理者議

(日中活動支援部会、就労支援部会、合同会議)

時 期：令和元年5月15日

内 容：①令和元年度活動内容（研修について）

②情報・意見交換

場 所：広島県社会福祉会館

出席者：20人

2. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、就労振興センター 合同研修会)

時 期：令和元年6月15日

内 容：ビジネスマナー研修

講 師：もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

場 所：福山プラザホテル

参加者：15人

3. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、就労振興センター 合同研修会)

時 期：令和元年7月6日

内 容：クレーム対応研修

講 師：もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

場 所：広島市南区地域福祉センター

参加者：25人

4. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、地域支援部会、3部会合同研修会)

時 期：令和元年8月2日

内 容：障害福祉サービスの質の評価について

講 師：日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会部会長
森下 浩明 氏

場 所：福山市西部市民センター

参加者：40人

5. 職員研修会

(研修部会、日中活動支援部会、就労支援部会、地域支援部会、4部会合同研修会)

時 期：令和元年12月19日

内 容：強度行動障害支援者研修(第1回フォローアップ研修)

場 所：育成会総合福祉センター

参加者：28人

6. 職員研修会

(研修部会、日中活動支援部会、就労支援部会、地域支援部会、4部会合同研修会)

時 期：令和2年1月24日

内 容：強度行動障害支援者養成研修(第2回フォローアップ研修)

場 所：育成会総合福祉センター

参加者：27人

7. 第2回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会、合同会議)

時 期：令和2年2月4日

内 容：①令和2年度事業計画

②役員改選

③情報・意見交換

場 所：広島県社会福祉会館

参加者：16人

事業総括

活動方針に基づいて利用者個々に応じたサービス向上を目指して昨年同様、生産活動、就労支援部会と合同で施設長・管理者会議や研修会を開催した。

8月の3部会合同での研修「障害福祉サービスの質の評価」に向けての研修会は大変有意義であった。今後も情報の収集や分析に努め、更なる活動に繋げていく。

■生産活動・就労支援部会

方針：近年、就労系事業所の使命として、一般企業への就労はもとより重度者・高齢者に配慮した福祉的就労が求められてきている。

平成30年度の報酬改定で就労定着支援事業が創設され、これまでの就労系事業についても一般就労の定着実績や月額工賃、1日の労働時間に応じた報酬へと改められ、果たすべき役割が問われている。

これらに対し、就労系事業所が連携して情報共有、研修などを通して諸般の課題解決にしっかりと取り組んでいく。

1. 第1回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)

時 期：令和元年5月15日

内 容：①令和元年度活動内容（研修について）

②情報・意見交換

場 所：広島県社会福祉会館

参加者：20人

2. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、就労振興センター 合同研修会)

時 期：令和元年6月15日

内 容：ビジネスマナー研修

講 師：もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

場 所：福山プラザホテル

参加者：15人

3. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、就労振興センター 合同研修会)

時 期：令和元年7月6日

内 容：クレーム対応研修

講 師：もりたキャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

場 所：広島市南区地域福祉センター

参加者：25人

4. 就労支援部会、就労振興センター 合同研修会

時 期：令和元年7月26日

内 容：工賃向上計画活用研修

講 師：インサイト 代表取締役 関原 深 氏

場 所：広島市東区地域福祉センター

参加者：19人

5. 職員研修会

(日中活動支援部会、就労支援部会、地域支援部会 3部会合同研修会)

時 期：令和元年8月2日

内 容：障害福祉サービスの質の評価について

講 師：日本知的障害者福祉協会 日中活動支援部会部会長
森下 浩明 氏

場 所：福山市西部市民センター

参加者：40人

6. 職員研修会

(研修部会、日中活動支援部会、就労支援部会 地域支援部会、4部会合同研修会)

時 期：令和元年12月19日

内 容：強度行動障害支援者研修（第1回フォローアップ研修）

場 所：育成会総合福祉センター

参加者：28人

7. 職員研修会

(研修部会、日中活動支援部会、就労支援部会 地域支援部会、4部会合同研修会)

時 期：令和2年1月24日

内 容：強度行動障害支援者研修（第2回フォローアップ研修）

場 所：育成会総合福祉センター

参加者：27人

8. 就労支援部会、広島県就労振興センター 合同研修会

時 期：令和2年1月24日

内 容：工賃向上実践報告研修会

講 師：インサイト 代表取締役 関原 深 氏

場 所：広島県社会福祉会館

参加者：21人

9. 第2回施設長・管理者会議

(日中活動支援部会、就労支援部会 合同会議)

時 期：令和2年2月4日

内 容：①令和2年度事業計画

②役員改選

③情報・意見交換

場 所：広島県社会福祉会館

参加者：16人

事業総括

昨年度同様、施設長・管理者会議、職員研修会を主に日中活動支援部会と合同で行った。8月に3部会合同で行った「障害福祉サービスの質の評価について」の研修会は大変有意義なものであった。また、工賃向上実践報告会、先進事例に学ぶ研修会や情報交換会を開催した。

今後も工賃向上に繋がる研修や職域を超えての研修を企画していきたい。

■地域支援部会

方針：地域移行・地域生活の支援と言われるなか、重度・高齢化を踏まえた対応として、新たに日中サービス支援型グループホームが創設された。様々な支援を切れ目なく提供できる仕組みづくりをしていく必要があるため、グループホーム事業所・居宅事業所において、事例に基づいた研修を進めスキルアップを目指していく。

さらに、関係組織・団体などとの連携に努め、地域における暮らし、相談支援体制の充実に向けてのネットワークづくりを進めていく。

1. 地域支援部会会議・研修会

(1) 時 期：令和元年5月31日

場 所：福山すこやかセンター

参加者：4人

内 容 1. 令和元年度事業計画の確認と進め方について
2. 地域支援部会研修会について

(2) 時 期：令和元年8月2日

場 所：福山市西部市民センター

(日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会、
地域支援部会)

参加者：41人

内 容 1. 研修会「障害福祉サービスの質の評価について」

(3) 時 期：令和元年12月5日

場 所：パレットせいわ

参加者：96人

内 容 1. 研修会「私たち支援者の業務とは」
2. 令和元年度の地域支援部会活動について

(4) 2019年度 強度行動障害支援者研修（フォローアップ研修）

時 期：第1回 令和元年12月19日 参加者：28人

第2回 令和2年1月24日 参加者：27人

第3回 令和2年2月27日（新型コロナウイルスのため中止）

場 所：広島育成会総合福祉センター

・主催：人材育成・研修部会

・共催：日中活動支援部会、生産活動・就労支援部会、
地域支援部会

2. 東部地区・西部地区ブロック「もみじ会」の開催

(1) 東部地区ブロック「もみじ会」新春の集い

時 期：令和2年1月12日

場 所：福山ニューキャッスルホテル

参加者：145人

内 容：グループホームの紹介、交流会等

(2) 西部地区ブロック「もみじ会」ひな祭りの集い

時 期：令和2年3月1日

場 所：東広島平安閣 *新型コロナウイルスのため中止

事業総括

平成元年からスタートしたグループホームは30年が過ぎ、全国で10万人を超える人たちが利用されている。この30年のなかでグループホームの役割が、一般就労をされている人たちの地域生活の場から、重度の人、高齢の人の生活の場、強度行動障害のある人たちの生活の場へと広がってきた。その流れのなかで、「意思決定支援」や「日中サービス支援型グループホーム」の研修を重ねながら、今年度は長年グループホームの利用者さんへの支援の中心的な役割を担っていただいている「世話人」の皆さんとの意見交換会を開催した。「本人主体のホーム支援を目指すなかでの、私たち支援者の業務とは」を考える良い機会となり、グループホームを利用される人たちの「地域生活」について支援の考え方や方向性を検討し、共生社会の実現に向けての共通認識を持てるきっかけになったのではないかと思われる。この意見交換会は、今後も継続してほしいという声がたくさん届いている。

昨年度まで地域支援部会が行ってきた居宅介護従事者養成研修については、今年度より人材育成・研修部会が主催となり強度行動障害支援者研修としての開催となった。しかしながら、年明けから新型コロナウイルスが流行したため、2月以降の研修会、西部地区ブロック「もみじ会」等がすべて中止となった。

新型コロナウイルスが沈静化したあかつきには、部会・研修会の再開に向けて活動を行いたい。

■相談支援部会

方針：平成 30 年度の報酬改定で新たな障害福祉サービスが創設され、相談支援は、質の高い支援の実施に対しての加算が創設されました。また、モニタリングの標準期間の見直しも行なわれ、平成 31 年度から本格的に新基準で実施することになっています。これらの変化に対応しながら、相談者に対し、質の高い支援を実施するために、相談支援専門員は、障害福祉制度等を理解しておくことは非常に重要です。また、質の高い支援を実施し、適切に加算を取得していくことが、相談支援事業所の安定した運営にも繋がるため、当部会では、相談支援専門員のスキルアップと相談支援事業所の安定運営を目的として、相談支援の専門研修を県内全ての相談支援事業所及び相談支援専門員を対象に実施するとともに、相談支援専門員同士の連携強化に取り組めます。

1. 相談支援部会定例会議

【第 1 回】

時 期：平成 31 年 4 月 25 日

内 容：①令和元年度部会活動及び研修会について

②情報交換（各地域・事業所他）

③相談事例の意見交換

場 所：広島県社会福祉会館

出席者：14 人

【第 2 回】

時 期：令和元年 6 月 7 日

内 容：①令和元年度相談支援研修会について

②相談支援従事者研修演習ファシリテーターについて

③情報交換（各地域・事業所他）

場 所：広島市南区地域福祉センター

出席者：15 人

【第 3 回】

時 期：令和元年 8 月 9 日

内 容：①令和元年度相談支援研修会役割分担

②情報交換（各地域・事業所他）

場 所：広島市南区地域福祉センター

出席者：13 人

【第4回】

時 期：令和元年10月11日

内 容：①研修会（福山会場）振り返り及びアンケート結果報告
②情報交換（各地域・事業所他）
③相談事例の意見交換

場 所：広島市南区地域福祉センター

出席者：18人

【第5回】

時 期：令和元年12月20日

内 容：①研修会（広島会場）振り返り及びアンケート結果報告
②アンケート結果にも続き、次年度研修内容の協議
③主任相談支援専門員研修報告
④情報交換（各地域・事業所他）

場 所：広島市南区地域福祉センター

出席者：20人

2. 部会総括会議

時 期：令和2年2月4日

内 容：①来年度事業計画について
②情報交換（各地域・事業所）
③役員改選に伴う、相談支援部会長の選任について

場 所：広島市南区地域福祉センター

出席者：12人

3. 相談支援研修会

【第1回】

時 期：令和元年9月21日

場 所：福山市ものづくり交流館

参加者：53人

【第2回】

時 期：令和元年11月9日

場 所：広島市南区民文化センター

参加者：100人

内 容：講演①「報酬改定後の相談支援事業所のあり方と相談支援専門員に求められる役割」

講師 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活支援推進室 相談支援専門官 藤川 雄一 氏

講演②「基本相談支援の重要性と支援付きの意思決定」

～ストレングスモデルの実践を通じて～

講師 日本相談支援専門員協会（鶴ヶ島市社会福祉協議会）

代表理事 菊本 圭一 氏

事業総括

相談支援事業にとって非常に大きな改正があった報酬改定から一年が経過し、実施した相談支援の成果や課題が多く見られた一年であった。そういった中で、改めて「相談支援の使命とは何か」「相談支援専門員として、利用者に寄り添うとはどういうことか」ということを再確認するとともに、今後の支援の糧にするために、制度と実践事例を通じて、相談支援専門員を対象とした研修を実施し、県内153人の相談支援専門員が受講され、アンケート結果からも高評価で、相談支援の質の向上に寄与できたと思う。また、県内の各地域での取組等の情報交換や意見交換を通じて、課題の抽出を行い、次期報酬改定等に向けて、上部団体の日本知的障害者福祉協会相談支援部会に提言をした。今後も相談支援部会の取り組みを、更に活性化させ、広島県の相談支援の質の向上に取り組みたい。

■支援スタッフ部会

方針：知的な障害のある方々に、最も身近に支援にかかわる私達支援スタッフは、サービス提供における必要な視点をお互いに確認しながら、資質の向上に努める。

多くの支援スタッフが参加できる圏域会議の開催を重点目標とする。支援情報の交換やサービス提供の実地見学等を通して支援技術等の向上に努める。多くの知的な障害のある方々の生き方の支えになる取り組みを行う。

1. 支援スタッフ部会議

【第1回】

時 期：令和元年6月19日

内 容：①実践報告『強度行動障害のある利用者さんへ』

報告者 平成会 宮領デイセンター 早坂 駿平 氏

助言者 静和会 未来図 管理者 木村 博文 氏

②事例検討『強度行動障害のある利用者さんの支援方法について』

説 明 手をつなぐ育成会 いくせい 澤村 晋平 氏

助言者 静和会 未来図 管理者 木村 博文 氏

③理事会報告

場 所：障害者支援施設 いくせい

出席者：39人

【第2回】

時 期：令和元年9月25日

内 容：①施設見学

②講演『西日本豪雨で起きたこと』

講師 三原市危機管理監 危機管理課 若宮 寛堯 氏

③講演『互いの命と暮らしを守るために』

講師 三原市防災ネットワーク 会長 竹原 茂 氏

④理事会報告

場 所：みどりの町 障害者支援施設ルネサンスほんごう

出席者：24人

【第3回】

時 期：令和元年12月13日

内 容：①講演『今思う事（親の気持ち）』

講師 一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会

会長 金子 麻由美 氏

②理事会報告

場 所：広島県社会福祉会館

出席者：38人

2. 保健福祉圏域活動

【第1回福山・府中保健福祉圏域会議】

時 期：令和元年8月28日

内 容：①講演 「介護研修」

講師 尾道福祉専門学校 重岡 秀和 氏

医療法人 永和会 佐伯 晋平 氏

場 所：静和会 大日学園

参加者：24人

【第2回福山・府中保健福祉圏域会議（広島中央・呉圏域合同開催）】

時 期：令和元年11月26日

内 容：①施設見学 創樹会 さくら・鞆の津ミュージアム・

ワンステップ・ふあんたす・すてっぷ

場 所：水呑交流館

参加者：22人

【第1回広島中央・呉保健福祉圏域会議】

時 期：令和元年8月20日

内 容：①施設見学

②意見交換会

場 所：大崎福祉会 指定障害福祉サービス事業所 ふれあい工房

参加者：9人

【第2回広島中央・呉保健福祉圏域会議（福山・府中圏域合同開催）】

時 期：令和元年11月26日

内 容：①施設見学 創樹会 さくら・鞆の津ミュージアム・

ワンステップ・ふあんたす・すてっぷ

場 所：水呑交流館

参加者：9人

【第1回広島・広島西・備北保健福祉圏域会議】

時 期：令和2年1月29日

内 容：①施設見学

②講演 「障害者の高齢化とどう向き合うか」

講師 元山 淳 氏

場 所：柏学園 瀬野川学園・安芸柏の実苑・瀬野柏の実苑

参加者：16人

【第1回尾三保健福祉圏域会議（第2回支援スタッフ部会議合同開催）】

時 期：令和元年9月25日

内 容：①施設見学

②講演『西日本豪雨で起きたこと』

講師 三原市危機管理監 危機管理課 若宮 寛堯 氏

③講演『互いの命と暮らしを守るために』

講師 三原市防災ネットワーク 会長 竹原 茂 氏

④理事会報告

場 所：みどりの町 障害者支援施設ルネサンスほんごう

出席者：10人

【第2回尾三保健福祉圏域会議】

時 期：令和2年1月23日

内 容：①講演『強度行動障害のある利用者の支援について』

講師 元山 淳 氏

場 所：みどりの町 障害者支援施設ルネサンスほんごう

出席者：11人

事業総括

多くの施設で課題と感じている『強度行動障害のある利用者の支援』について未来図管理者である木村氏の助言を得ながら事例検討を行うことができた。

高齢化した知的に障害がある方の支援に特化した障害者支援施設ルネサンスほんごうの見学を通して今後必要となる支援と介護の課題について学ぶことができた。

西日本豪雨災害の体験を振り返りながら利用者の命を守るために必要な視点について三原市防災ネットワーク会長である竹原氏の講演から学ぶことができた。

意思決定支援を行う上で重要な視点について広島県手をつなぐ育成会会長である金子氏の講演から学ぶことができた。

圏域会議では、各圏域副部長を中心に支援スタッフとして学ぶべき知識を得るための講演、施設見学を開催した。複数の圏域での合同開催を通して、幅広い意見交換を行うことができた。

来年度も引き続き、人権・倫理部会、心に残るちょっといい本音の話編集委員会と連携を図り、支援スタッフの人権に関する資質向上のために活動を行っていく。

業務部会

■政策・調査・研究部会

方針：2021年度次期報酬改定に向けて、障害福祉サービス等報酬改定検討チームにおいて検討が必要とされた事項や、平成30年度報酬改定の効果検証に必要な事項等について、日本知的障害者福祉協会の政策・研究部政策委員会での動向を把握する。

また、第5期障害福祉計画（平成30～32年度）において、地域生活支援拠点等の全国的な整備に関する拠点等の整備を完了させることとしており、県内の未整備の市町における課題の抽出、分析、進捗状況などを検証していく。

さらに、新しい経済政策パッケージ（平成29年12月8日閣議決定）で示された新たな処遇改善については、消費税率の引上げに伴う報酬改定において対応し、2019年10月から実施する予定とされている。障害福祉人材についても、介護人材と同様の処遇改善を行い、具体的には、他の介護職員などの処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認めることを前提に、介護サービス事業所における勤続年数10年以上の介護福祉士について月額平均8万円相当の処遇改善を行うことである。資格要件や対象範囲、法人内での運用について直近の動向を把握し、障害福祉人材の処遇改善に寄与する。

1. 政策・調査・研究部会会議

【第1回】

時 期：令和元年8月

内 容：①「広島県への予算・政策要望」
②情報交換

場 所：広島県社会福祉会館

【第2回】

時 期：令和2年2月

内 容：①次年度事業計画（案）策定
②意見交換

場 所：広島県社会福祉会館

2. 研修会「令和元年度 政策調査研修部会セミナー」

時 期：令和元年11月14日

内 容：講演 河原 雄一 氏

（日本知的障害者福祉協会政策委員会委員長）

（1）「中央情勢報告～次期報酬改定に向けての現状と課題」

(2) 「地域生活拠点等事業の現状と地域での進め方のヒント」

(3) グループディスカッション（地域生活拠点等事業について）

場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 7階 Aホール

参加者：45人

事業総括

「令和元年度広島県社会福祉制度及び予算に伴う要望事項」に対する会員事業所から意見・要望等を集約し、広島県知的障害者福祉協会の要望事項として取りまとめた。

また、令和元年11月に開催した「令和元年度政策調査研修部会セミナー」では、日本知的障害者福祉協会政策委員会委員長の河原雄一氏より、地域生活拠点等事業の現状や課題などについて、有益な情報提供や会員相互のグループディスカッションなど多くの学びがあった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月に岡山県で予定されていた中国地区部会長会議の初会合については延期となった。この感染症における会員事業所からの現状や要望等の取りまとめなど、連携の必要性についても次年度の課題としたい。

そして、令和3年度次期報酬改定に向けて、日本知的障害者福祉協会の政策・研究部政策委員会の情報を共有していきたい。

■人権・倫理部会

方針:利用者の権利擁護や虐待防止に向けての取り組みは、施設・事業所職員個々の意識・資質の向上と組織としての対応(取り組み)が不可欠であり、そのための研修会開催や冊子作成・配布を部会活動として行う。

また、人権擁護思想の普及・啓発、障害者虐待防止法・障害者差別解消法の普及・徹底に努め、障害者に対する差別や偏見のない「共生社会」の実現に向けて取り組む。

1. 人権・倫理研修会

時 期：令和元年10月23日

場 所：広島県社会福祉会館

内 容：テーマ【今の自分の姿を見つめながら効果的な対人関係のあり方を学ぶ】

演習：「チームで課題達成する時のコミュニケーションやリーダーシップについて学ぶ」

「相手の考えを聴くスキルを身につける」

「受容的に聴くことを学ぶ」

「働く上での大切なものを考察する」

講師：三宝 裕 氏（ヒューマン・リレーション・センター代表）

参加者：44人

2. 人権・倫理部会会議

【第1回】

時 期：令和元年7月19日

場 所：広島県社会福祉会館

内 容：・研修会の開催について

・人権・倫理に関する冊子作成について

・出前講座について 他

参加者：7人(人権・倫理部会員)

【第2回】

時 期：令和元年10月3日

場 所：広島県社会福祉会館

内 容：・研修会について

・人権・倫理に関する冊子作成について

・実態調査(アンケート)実施について 他

参加者：6人(人権・倫理部会員)

【第3回】

時 期：令和元年12月10日

場 所：広島県社会福祉会館

内 容：・研修会の総括

・人権・倫理に関する冊子作成について 他

参加者：4人(人権・倫理部会員)

3. 会員事業所における人権・倫理に関する実態調査（アンケート）実施

時 期：令和元年11月

内 容：権利擁護・虐待防止に関する委員会設置等についての調査

回答数 51件

4. 出前講座（講師派遣）

内 容：会員施設・事業所職員の人権に対する意識の向上を図ることを目的に、
出前講座登録講師を依頼(申込み)のあった施設・事業所に派遣した。

5. 令和元年度障害者虐待防止ネットワーク推進会議

時 期：令和2年3月16日

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、書面会議となる

内 容：・報告(障害者虐待の状況、広島県障害者虐待防止・権利擁護
推進事業について 他)

・被虐待者の保護や分離に係る入所施設等の情報提供について

参加者：1人(部会長)

事業総括

職員が人権に対する正しい知識と感覚を身につけることが重要という方針のもと、人権・倫理研修会や出前講座の講師派遣などを行った。人権・倫理研修会は「相手の考えを聴くスキル」を身につけ、「受容的に聴くこと」や「チームで課題達成する時のコミュニケーションやリーダーシップ」などを学ぶことをねらいとしてグループワーク（演習）を中心とした研修を行ったが、人権擁護の基本となる相手の思いを聴き尊重する事の大切さを学び・考えるいい機会となった。

啓発や施設・事業所内での研修会利用を目的とした人権・倫理に関する冊子の作成作業を令和元年度中の発行・配布を目指し、部会議で確認しながら行ってきたが、年度終盤の新型コロナウイルス感染症の影響で発行・配布には至らなかったため、令和2年度の発行・配布になったことをお詫びいたします。

■人材育成・研修部会

方針：昨年度に引き続き、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）を実施する。また、元気をはぐくむ職員基礎講座は、令和元年度で第8回目の研修企画となった。新任・若手職員の研修の場として定着していることと、若手職員による実践発表の場として大きな役割を果たしており、今後も継続した取り組みとしたい。

1. 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）

時 期：令和元年8月20日・21日

場 所：広島県社会福祉会館講堂

講 師：広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

受講者：70人

2. 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）

時 期：令和元年9月30日・10月1日

場 所：育成会総合福祉センター

講 師：広島県知的障害者福祉協会会員施設の職員

受講者：51人

3. 第8回「元気をはぐくむ、新任職員基礎講座」

時 期：令和元年12月18日

・実践発表【発表者】

似島学園高等養護部 職業指導員 則川 誠子 氏

光清学園成人部 生活支援員 室元 恵莉 氏

ルネサンスだいわ 生活支援員 田島 令子 氏

松永作業所 支 援 員 瀧安 雄太 氏

春日寮 生活支援員 藤原 宇宙 氏

・知的障害者理解講座「あび隊へようこそ」広島県手をつなぐ育成会あび隊

・グループワーク

やる気スイッチを探そう！

・基礎講座

演題：社会福祉施設で働く職員としての心構えと権利擁護

講師：寺尾 文尚 氏 社会福祉法人 ひとは福社会 理事長

広島県知的障害者福祉協会 監事

参加者：30人

4. 強度行動障害支援者養成研修（フォローアップ研修）

時 期：第1回フォローアップ研修 令和元年12月19日

第2回フォローアップ研修 令和2年1月24日

第3回フォローアップ研修 令和2年2月27日

講演 講師：社会福祉法人 北摂杉の子会 理事長 松上 利男 氏

内 容 (第1回) 講義「強度行動障害への支援について」

未来図 施設長 木村 博文 氏

実践報告・グループワーク (事例検討)

(第2回) 講義「アセスメントについて」

未来図 施設長 木村 博文 氏

グループワーク (事例検討)

(第3回) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5. 改めてダウン症について学ぶ研修会

時 期：令和元年11月26日

場 所：育成会総合福祉センター

内 容：講演・講義等 ダウン症の方の支援について (改めてダウン症について学ぶ)

講 師：東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター

教授 菅野 敦 氏

出席者：140人

事業総括

今年度も現場で働く新任のスタッフの職場定着と育成を目指し、元気をはぐくむ新任職員基礎講座を行った。若手職員の実践発表で、他の事業所における取組みや発表者の職務への姿勢、悩み等を新任職員の方に聴いて頂いた。今後も、現場職員の専門性の習得と福祉の現場で働く職員としての権利擁護への意識が高まるような研修となるように取り組んでいきたい。

次に、昨年度に引き続き、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）と強度行動障害支援者養成研修（フォローアップ研修）を行った。今年度のフォローアップ研修は、テーマを設け3回に分けて行うようにした。基礎研修や実践研修で学んだ事を基に、現場で取り組まれていることをグループワークの中で発表し、未来図木村施設長の指導でそれぞれの現場で生かせるように取り組んだ。3回の研修の最後に、社会福祉法人北摂杉の子会理事長松上利男氏に講演をお願いしていたが、新型コロナウイルス感染症のために延期（中止）となった。今後も、強度行動障害の方を支えるための研修を継続していきたい。また、今年度は、ダウン症についての研修会を、東京学芸大学の菅野先生にお越し頂き行った。ダウン症の方の退行現象など現場の職員からどう取り組んだら良いかわからないと言う悩みを多く聞くので、改めてダウン症について学ぼうそして取り組もうと開催し、140名を超える方の参加があった。研修は菅野先生が話そうとされていた内容の5割程度しか終わらなかったため、菅野先生のご配慮で5月に第2回目の研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期させて頂くこととした。今後も、菅野先生と連携し、ダウン症の方がその方らしく生きられるように政策・調査・研究部会と一緒に取り組んでいきたい。

■事業部会

方針：スポーツの部

スポーツを通して障害のある人たちの健康増進と交流を目的とし、各種スポーツ大会を開催する。

第 59 回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「広島大会」を東広島運動公園にて開催する。

広島県障害者スポーツ協会との連携を図る。

スポーツの部

1. 広島県障害者陸上競技大会

(1) 第 13 回広島県障害者陸上競技大会 第 2 回 実行委員会

時 期：平成 31 年 4 月 24 日

場 所：広島県立総合体育館 小会議室

内 容：障害者陸上競技大会実行委員会委員の交代について
競技種目及び参加選手状況

(2) 第 13 回広島県障害者陸上競技大会

時 期：令和元年 5 月 19 日

場 所：広島県びんご運動公園

(3) 第 13 回広島県障害者陸上競技大会 第 3 回 実行委員会

時 期：令和元年 6 月 3 日

場 所：広島県庁 R 会議室

内 容：反省会及び全国障害者スポーツ大会についての協議

(4) 第 14 回広島県障害者陸上競技大会 第 1 回 実行委員会

時 期：令和 2 年 1 月 16 日

場 所：広島県立総合体育館 小会議室

内 容：実施要項（案）、収支予算（案）について

2. 第 19 回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会 2019」

※台風 19 号の影響により大会中止

(1) 第 19 回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会 2019」

ソフトボール競技中国・四国ブロック予選会

時 期：令和元年 5 月 25 日～26 日

場 所：徳島県 徳島市民吉野川北岸運動広場

3. 知的障害関係施設親善球技大会（3ブロック）の実施

（西部）時 期：令和元年5月18日

場 所：広島市立広島特別支援学校

（中部）時 期：平成31年4月27日

場 所：東広島運動公園

（東部）時 期：令和元年5月26日

場 所：広島県びんご運動公園

4. 第59回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「広島大会」

（1）中国地区親善球技大会各県代表者会議

時 期：令和元年7月2日

場 所：東広島運動公園 会議室

（2）第59回中国地区知的障害者関係施設親善球技大会への参加

時 期：令和元年9月20日

場 所：東広島運動公園、賀茂ボール

5. 2019年 ボウリンピック i n 東広島

時 期：令和元年12月7日

場 所：賀茂ボール

事業総括

第59回中国地区知的障害関係施設親善球技大会「広島大会」を東広島運動公園、賀茂ボールにて開催した。賀茂ボールの会場トラブルで、ボウリングが実施できなかった。代替りの球技を用意した事務局判断は的確であった。

第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会2019」は、台風19号のため、大会が中止となった。

■事業部会

方針：文化・芸術活動の部

障害のある人たちの文化・芸術の振興を図るために、会員事業所から生まれる障害のある人たちの作品や様々な活動を紹介し、このことに携わる会員スタッフ（専門支援者）の育成を図る。また、広島県主催の「あいサポート・アート展」「あいサポートふれあいコンサート」開催に参画し、ひいては、東京オリンピックで併催される文化芸術の部へ参加を目指し研鑽する。また、障害のある人たちの権利擁護と会員の資質向上を目的に「心に残るちょっといい話」（第11号）を発行する。

文化・芸術活動の部

1. 研修会・作品展開催に向けて

(1) 第1回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

時 期：平成31年4月24日

場 所：広島市南区地域福祉センター

内 容：作品展・研修会開催について

地区代表：西部／光清学園・ひとは福祉会

中部／野呂山学園・江能福祉会 東部／創樹会

圏域委員：広島／太田川学園 広島中央／西志和農園

尾三／若葉 府中・福山／大日学園・「ゼノ」少年牧場

呉／かしの木・デイセンターのろさん

備北／庄原もみじ園 事務局／大日学園

(2) 第2回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

時 期：令和元年6月12日

場 所：広島市南区地域福祉センター

内 容：作品展・研修会 開催に向けて

第4回「わたしは花」展、第6回「どや、〇〇じゃろ！」展

開催日時・会場・作品募集 他、研修会内容について

(3) 第3回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

時 期：令和元年10月9日

場 所：さをりひろば工房まち（福山市内）

内 容：作品展・研修会 開催準備について

第4回「わたしは花」展、第6回「どや、〇〇じゃろ！」展

進捗状況について、研修会内容について

(4) 第4回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

時 期：令和元年12月4日

場 所：大日学園／プラムガーデン

内 容：研修会・情報交換会

(5) 第5回実行委員会（地区代表及び圏域委員会）

時 期：令和2年2月6日

場 所：広島市南区地域福祉センター

内 容：平成31年度事業報告と令和2年度事業計画

(6) 第4回「わたしは花」展 開催

時 期：令和元年8月1日～6日

場 所：宮島・ぎやらりい宮郷

第6回「どや、〇〇じゃろ！」 開催

時 期：令和元年7月6日～28日

場 所：鞆の津ミュージアム

(7) 研修会

時 期：令和元年12月4日

場 所：大日学園／プラムガーデン

内 容：各施設から作品を持ち寄り、意見交換を兼ねた研修会

2. 「心に残るちょっといい話」第11集の発行

編集委員 寺尾文尚 原口 真 彌政慎一 本廣義紀 西本博義

川本義弘 平岡辰士 西山堅太郎 スタッフ部会代表（西崎）

発行予定を令和2年度第1回総会としていたが発行することができなかった。

次年度には11・12号併刊号として発行する予定。

3. 広島県主催の あいサポートアート展作品審査、作品展示作業協力、
作品展会場係及びあいサポートふれあいコンサート開催に協力・参加

・あいサポート アート展

時 期：令和元年10月29日～11日3日

場 所：広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー

日 時：令和元年11月19日～11月24日

場 所：ふくやま美術館 1階ギャラリー・ホール

・あいサポート ふれあいコンサート

時 期：令和元年12月1日

場 所：東広島芸術文化ホールくらら

事業総括

今年度の目標を「方針」として持っていました。文化芸術の活動(実行委員会や2度の作品展、研修会、あいサポート・アート展、ふれあいコンサートなど)は上記のように実施いたしましたが、会員誌として発行している「心に残るちょっといい話(第11号)は、編集委員の職務移動などの影響で発行することができませんでした。新年度事業として第11、12号の併合として発行する予定にしていますが、現在コロナ禍が深刻な状況にありますので不安視しています。

■総務部会

方針：広島県知的障害者福祉協会の会員施設・事業所への情報発信力の強化と会員相互の情報共有を有効にすすめるためのツールとして、ホームページのリニューアルを行い、協会の活性化に努める。また、継続して各支援部会や各福祉圏域内での情報や意見交換の推進を担うことを役割と位置づけ、予算管理や調整を図る。

さらに会員施設の各活動の推進として、必要に応じて広島県主催の行事等において役割を担い、有益性のある情報発信に努める。

また、今年度は、広島県が当番県として「第 51 回中国地区知的障害関係施設長会議」の開催運営にあたる。

1. 総務部会

期 日：平成 31 年 4 月 23 日

会 場：広島県社会福祉会館 会議室

参加者：2 人

内 容：平成 30 年度事業計画について

2. ホームページの更新

期 日：随時（年間）

内 容：事業計画・事業報告・予算、決算報告、協会主催の研修案内、作品及び原稿等の募集等

3. 広島県主催の「介護の日」実行委員会の参加

期 日：令和元年 5 月～12 月

内 容：会議の参加、開催日の役員と出店調整等

4. 第 1 回総会・研修会の実施

期 日：令和元年 5 月 24 日

会 場：広島ガーデンパレス

参加者：121 人

内 容：「チームビルディング

～組織のモチベーションを上げる仕組みとリーダーシップ～

講 師：シムウェルマン株式会社代表取締役 飯村芳樹氏

5. 第 2 回総会・研修会の実施

期 日：令和 2 年 3 月 11 日

会 場：広島ガーデンパレス

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

6. 第51回中国地区知的障害関係施設長会議

期 日：平成31年4月18日・19日

会 場：TKPガーデンシティ広島駅前大橋
ホテルセンチュリー21 広島

参加者：246人

内 容：大会運営

7. 圏域会議の推進

福山・府中圏域

期 日：令和元年5月～令和2年2月まで 5回開催

会 場：福山すこやかセンター等

内 容：広島県知的障害者福祉協会活動報告

圏域の活動について、情報交換

圏域会議の参加者：13人～18人

研修会『人生を豊かに彩るコミュニケーションを目指して』

講 師：桑原 綾子 氏

(NPO法人コミュニケーションハンディキャップ研究会副理事長)

研修会参加者：44人

広島中央圏域

期 日：令和元年6月7日、令和2年2月7日(2回開催)

会 場：東広島芸術文化ホールくらら

参加事業所：16事業所

内 容：研修会「福祉人材確保について」

講 師：吉岡 俊昭 氏

(トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校学科長)

広島県知的障害者福祉協会活動報告

圏域理事選出について その他

情報交換

広島圏域・広島西圏域と合同

期 日：①令和元年9月3日、②令和元年12月14日(2回開催)

会 場：①広島市手をつなぐ育成会、②友和の里グループホーム

出席者：①15人、②12名

内 容：親善球技大会、情勢等意見交換、施設見学等

事業総括

広島県知的障害者福祉協会ホームページの随時更新やさらに内容の充実に努めながら、身近なホームページとして活用してもらえるように会員専用ページに情報提供を行い、各関係機関等のリンクを掲載した。また、日本知的障害者福祉協会や国の動向等の情報発信や会員間の情報提供にメーリングリストを活用しながら、周知の徹底を図ることに努めた。

総会における研修は、会員のニーズに応える研修内容を吟味しながら開催した。

「介護の日フェスタ」のワーキングや広島県主催の行事等において役割を担い、啓発活動にも積極的に参加した。

圏域会議の予算管理だけでなく、会議内容についての情報共有など圏域活動の活性化につながる取り組みが求められているが、役割を果たすことができていない。